

主 な 異 常 気 象

災 害 区 分 発 生 月 日	気 象 概 況
令 和 4 年 前 線 による 大 雨 令 和 4 年 8 月 1 日 ～ 8 月 6 日	8月上旬から下旬にかけて、日本付近に停滞した前線や低気圧等の影響により、各地で大雨となった。 特に8月1日から6日にかけては、日本海から東北地方や北陸地方にのびる前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となり、北日本や北陸地方を中心に大雨となった。3日から4日にかけては東北南部から新潟県にかけて前線が停滞し、活動が活発化した。複数の線状降水帯が発生するなどしたため、雷を伴った猛烈な雨が断続的に降り、多くのアメダス地点で1時間降水量や24時間降水量の観測史上1位の値を更新するなど、東北地方から北陸地方にかけて大雨となった。特に山形県と新潟県では記録的な大雨となり、新潟県では降り始めからの降水量が平年の8月の月降水量の2倍を超えた。前線は次第に南下し、4日は石川県や福井県でも断続的に猛烈な雨が降り記録的な大雨となったほか、5日から6日にかけては福井県や滋賀県、三重県などで大雨となった。 これらの大雨の影響で、北日本や北陸地方を中心に土砂災害、河川の氾濫、浸水害等が発生した。また、住家被害が発生し、停電、断水、電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道の運休等の交通障害が発生した。
令 和 4 年 台風第14号 による暴風 ・ 大 雨 等 令 和 4 年 9 月 1 7 日 ～ 9 月 2 0 日	9月14日3時に小笠原近海で発生した台風第14号は、日本の南を北西に進み、17日3時には大型で猛烈な強さまで急速に発達した。台風は18日19時頃に、大型で非常に強い勢力で鹿児島県に上陸し、19日朝にかけて九州を縦断した。その後、進路を東寄りに変え、中国地方から日本海を進み、20日3時に日本海で温帯低気圧に変わった。 この台風の接近、通過、上陸により、九州を中心に西日本から北日本の広い範囲で最大風速20メートル以上の非常に強い風を観測するなど各地で暴風となり、鹿児島県屋久島町では最大瞬間風速50.9メートルを観測したほか、九州から中国地方及び近畿地方にかけての多くの地点で、最大瞬間風速の観測史上1位の値を更新した。海上は猛烈なしけや大しけとなり、警報基準を超える高潮となったところがあった。 台風周辺や台風本体の発達した雨雲が長時間かかり、また線状降水帯が発生したため、九州や四国地方を中心に大雨となった。宮崎県では17日から20日にかけての降水量が多いところで900ミリを超えるなど、九州や四国地方の複数の地点で平年の9月の月降水量の2倍前後となった。 この台風によって、西日本を中心に土砂災害、河川の増水や氾濫、浸水害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、大規模な停電、断水、電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、道路の通行止め、鉄道の運休、航空機の欠航等の交通障害が発生した。

○出典：令和4年度災害時自然現象報告書（気象庁）

